

放課後等ディサービス 夢門塾 自己評価表

記入日:	2024年12月16日
事業所名: 夢門塾川崎京町	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	3	3	1	ご利用人数により狭いと感じる時もあるが、パーテーションなどを利用し工夫して使用している。
	②	職員の配置は適切である	2	1	4	基準配置は満たしているが、送迎などを考慮すると足りていない。
	③	衛生面の管理が行き届いている	2	5	0	定期的に清掃・消毒を行っている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	4	2	1	申し送りノートの活用を行っている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	6	1	0	職員ミーティングを実施し、共有し改善策を検討している。
	⑥	自己評価の結果を公開している	6	1	0	ホームページにて公開している。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	6	1	0	月に1度職員ミーティングを行っている。 会社の研修に参加している。
	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	4	3	0	月に1度個別支援ミーティングを行っている。
適切な支援の提供	⑨	活動の計画をチームで行っている	5	2	0	各自意見を出し合って検討している。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	6	1	0	インターネットなどで調べて新しいことに挑戦できるよう計画を立てている。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	5	2	0	休日や長期休暇には外出活動を計画し、公共交通機関の使用など通常と異なる支援を行っている。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	3	3	1	集団活動が主になるが、必要に応じて個別活動も行っている。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1	0	毎朝全職員で共有を行っている。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1	0	職員同士で確認を行いながら、提供記録を記入している。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	5	1	1	半年ごとにモニタリングを行っている。
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	5	2	0	夢門塾の掲げている3本柱を組み込んで支援を行っている。

関係機関、保護者様との連携	⑯ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行えている	5	1	1	学校とは密に連絡を取り、情報共有に努めている。
	⑰ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	1	5	1	相談支援事業所を通し、情報共有に努めている。
	⑲ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	3	3	1	該当する児童がいない。
	⑳ 児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	4	2	南部療育センターに定期的に訪問をしている。
	㉑ 日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	5	1	1	送迎時に情報共有を行っている。またコードモンを使用しての情報共有も行っている。
保護者様への説明責任等	㉒ 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	1	0	契約時に書面などを活用して説明を行っている。 変更があった際にも書面などを活用し全保護者様に説明を行っている。
	㉓ 保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	6	1	0	保護者様のお気持ちに寄り添いながら助言を行っている。
	㉔ 保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	5	2	0	感染状況を鑑みながら参観ウィークを実施した。
	㉕ 子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1	0	全職員で共有し再発防止を行っている。
	㉖ 定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	6	1	0	月に1度夢通信を配布している。
	㉗ 個人情報保護に十分注意している	6	1	0	個人情報の同意書などにて意向を確認している。
	㉘ 障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	2	0	言葉だけではなく表情などをよく確認しながら伝達を行っている。
	㉙ 地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	3	3	0	地域の夏祭りの御神輿担ぎに参加させていただいた。
	㉚ 緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	6	1	0	各事態に合わせた対策マニュアルを策定し周知している。
非常時などの対応	㉛ 非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	7	0	0	1年に3回各事態に備えた避難訓練を行っている。
	㉜ 虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	0	会社の研修に参加している。 職員ミーティングの際に情報共有を行っている。
	㉝ いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	7	0	0	契約時に書面を活用しながら説明を行っている。
	㉞ 保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	6	1	0	基本的に投薬は行っていない。
	㉟ ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	7	0	0	会社共有の書式を使用し、全職員で共有を行っている。
	保護者様評価、自己評価についてまとめ				
例年に比「どちらともいえない」が多かった。理由として日々の業務のなかで情報共有が足りていないことが考えられる。日々の業務のなか充分な情報共有を行うためにも職員の増員が必要。今後はより一層情報共有の仕方を工夫し徹底してまいります。 全利用者様にとって夢門塾が安心できる場所・保護者様にとって安心してお子さまを預けられる場所であり続けるために職員一同尽力してまいります。					